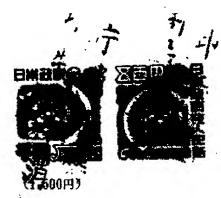
## 公開実用 昭和50-102778



AT 157

実用新案登録願 🛱

特許庁長官殿

1. 考案の名称

40703030 f 包装尾攀暴

2. 考 案 者

性所 大阪府東大阪市上四条町3の3 対 10 マナ 着 氏名 内 華 九 雄

3. 実用新來登録出願人

在 所 大阪府門真市大字三ツ島 10 香地名 称 平代田紙工業株式会社 作力 普 一

4. 代 塱 人

住 所 〒550 大阪府大阪市西区阿波座南通1丁目71番地 アマノビル 電話 大阪 06 (532) 4025 (代)

正 名 (8808) 弁理士森 本 義 弘

1 通

5. 添付書類の目録

(3) 菱

(1) 明 和 書 1 通 (2) 図 面 1 通

状

£!

(4) 願 書 副 本 1 通

· 方式 /

49 630845

小川 49, 1.2 出顧第二編 出酶 2 持業の名称
包装用容器

ζ.

2. 実用新業登録請求の範囲

内容物を被覆圏定する膨出部を形成した樹脂フィルムを貼着し、鼓影出部を挟んでコの字状に両側部を鉄彫出部よりも高く折曲すると共に動影出部の間線に囲まれる部分に内容格を出し入れする手段を設けた内装台と、耳状に両側板を連縮する 様板上に前記内装台を執電内製せしめる保護枠と、この内装台を内嵌した保護枠を収納する外数値と からなることを特徴とする包装用容器。

1. 考察の幹細な説明

本考案は小型電気製品、時計、置物等の包装用容器に関する。従来とれらの内容物は発泡機能等の優着材を用いて雑肪めしていたので優着材の製作費が高くつく上に使用後の緩着材の処理が面倒であった。本考案はとれらの欠点がなく原紙を主要材料に用いて製作できる包装用容器を提供しょうとするものである。

## 公開実用 昭和50-102778

以下本考案の包装用容器を実施の例示図に基い て脱明する。信1因にかいて、臼は方形の台紙で あって中央部(2)には戀罪を形成するミシン穴の切 込み娘(4)を散けてある。(4)は兩側部であって(4)な 折曲用の暴線である。との台紙(1)には第2回に示 すように前記中央部はの切込み線は内に載置する 内容動を被理固定する膨出部はを形成した適用の 横脂フィルム(1)を貼着し、前配両側部(4)を修出部 (8)の阿側に折曲して内装台(8)が形成されている。 との調酬部(4)は前記影出部(6)よりも高くしてある。 **着る図にかいて(a) は保護枠であって両側を折曲し** て中央の横板跡を挟んで且状に両側板印が連結さ れている。そしてとの横板W上に顔配内装台側を、 折 恵 した 両 劉 都 (4) が 夫 4 捜 板 伽 両 側 の 両 側 板 ⑪ に 重量するように、截置内嵌せしめてある。 第4因 にかいて四は、内装台(8)を内嵌せしめた保護枠(8) 収納する外装箱である。第5図にこの外装箱図 の内装台(8)の前記部出部(8)内に後援器定された内を申録2 容袖と外装着03の内壁面との間には空隙が存して との包装用容器は充分な機套機能を有している。

1

本考察に係る包装用容器は以上のように実施し得るものであり、内容物を内装台の中央関係を内容的の両側で内装台の中央関係を開発した。との内容的の両側で内装台であるように対した。日本の内容の関係を対したので、内容の関に空隙を存して、内容を対したので、内容を対して、内容を対し、人のであり、内容を対し、人のであり、内容を対し、人のであり、内容を対し、人のであり、内容を対し、人のであり、内容を対し、人のであり、内容を対し、人のであり、内容を対し、人のであり、内容を対し、人のであり、内容を対し、内容をは

## 公開実用 昭和50-102778

脂フイルムの使用量が少くて許む。更にこの包装 用容器は以上のような構成であるから殆んど扉紙 を素材として製作できるので従来のような高値な 装荷材を必要とせず使用後の処分も簡単である。

4. 図面の簡単な説明

第1因は内装台の台紙の製取りを示す平面因、 第2因は内装台の新視器、第3題は保護枠の新視 因、第4因は包装状態を示す新視器、第5回は第 4因の A 一 A 最新面因、第6回は他の実施例を示 す断面器である。

(I) …台紙、(B) …切り込み様、(A) … 簡都、(B) …脚 出都、(I) …樹脂フイルム、(B) … 内装台、(B) … 保護 棒、咖 … 機板、(I) … 側板、 端 … 外装箱

代埋人 秦 本 義 弘

